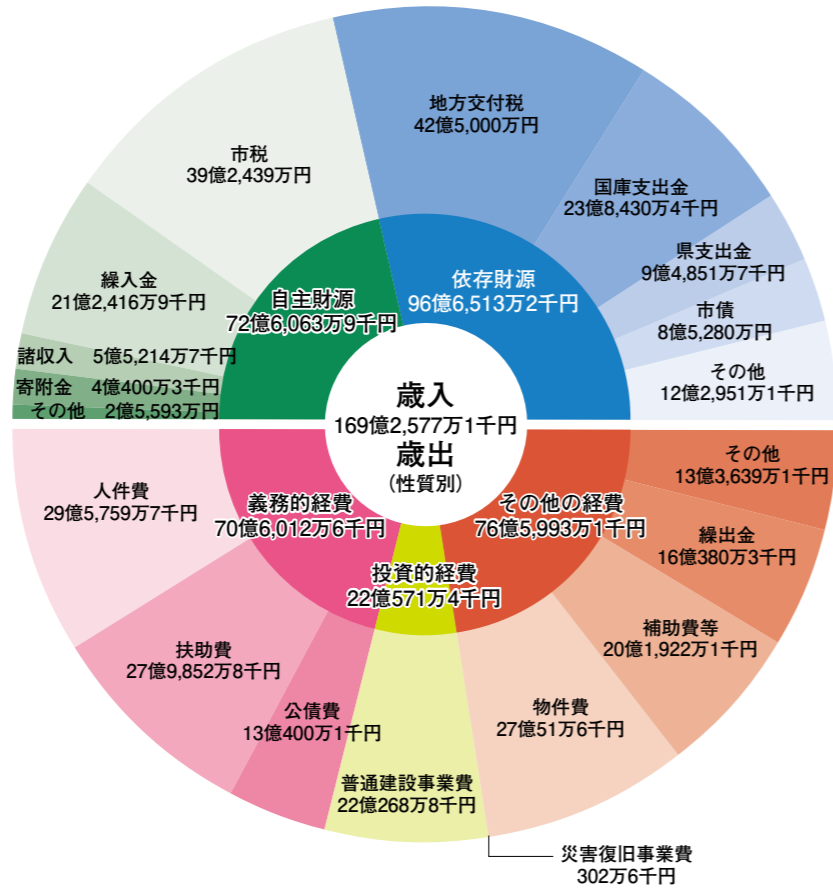


目的別の予算額と主な事業

- 民生費 54億2,973万5千円 (32.1%)**
 - 保育事業（保育園等の運営、給付費） 10億4,618万9千円
 - 障害者総合支援費 7億9,412万7千円
 - 子ども・心身障害児者医療費助成事業 1億6,801万8千円
 - 子育て支援事業 1,133万2千円
- 土木費 27億4,395万1千円 (16.2%)**
 - 道の駅整備事業 7億3,102万6千円
 - 橋梁長寿命化対策事業 5億6,200万円
 - スマートインターチェンジ整備事業 3億5,153万8千円
 - 白石沖西堀線街路事業 2,172万6千円
 - 無電柱化推進事業 1,035万5千円
- 総務費 24億 730万9千円 (14.2%)**
 - ふるさと納税推進事業 2億3,382万9千円
 - 市民バス運行管理事業 9,463万4千円
 - 定住促進事業 4,833万6千円
 - まちづくり推進事業 1,624万8千円
- 衛生費 21億2,782万円 (12.6%)**
 - 病院事業会計負担金、補助金、出資金 12億4,614万6千円
 - 予防接種事業 1億6,599万9千円
 - 妊婦・産婦健診助成事業 1,755万4千円
 - 出産・子育て応援交付金事業 1,224万9千円
- 教育費 14億8,242万6千円 (8.8%)**
 - 教育情報化推進事業 6,599万1千円
 - 外国語・国際理解教育推進事業 3,151万2千円
 - 学びの多様化学校運営事業 2,681万6千円
 - 学力向上プロジェクト事業 1,315万6千円
- 公債費 13億 400万1千円 (7.7%)**
- 消防費 5億1,143万1千円 (3.0%)**
 - 消防施設整備事業 4,547万1千円
- 商工費 4億2,201万円 (2.5%)**
- 農林水産業費 3億1,887万円 (1.9%)**
 - 有害鳥獣対策事業 3,741万8千円
 - 森林経営管理推進事業 2,557万5千円
- その他 1億7,821万8千円 (1.0%)**



【一般会計】

市の会計の中心となるもので、市民サービスの基本的な経費を計上した会計です。皆さんから納めていただく市税のほか、地方交付税をはじめとする交付金などを財源として、子どもから高齢者までだれもが安心して暮らすための各種福祉事業、道路や公園などの都市基盤の整備、学校教育や生涯学習事業などを行います。

【特別会計】

特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。本市は3つの特別会計を設けています。

特 別 会 計	83億 806万8千円
国民健康保険	37億7,040万9千円
介護保険	40億2,017万5千円
後期高齢者医療	5億1,748万4千円

【企業会計】

独立採算を基本とし、地方公営企業法が適用される公営企業の会計です。

企 業 会 計	46億9,856万円	
水道事業	収益的支出	8億8,436万円
	資本的支出	4億 531万5千円
下水道事業	収益的支出	10億4,932万8千円
	資本的支出	7億8,163万8千円
病院事業会計	収益的支出	8億5,456万8千円
	資本的支出	7億2,335万1千円

令和6年度一般会計予算は

169億2,577万円1千円

変化の時代に対応し将来にわたって持続可能な白石市を目指して

令和6年度当初予算は、財政の健全化を保ちつつ、第六次白石市総合計画に基づく新たな将来像である「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」の実現に向けて、スマートインターチェンジや周辺施設整備事業、公立刈田総合病院、学びの多様な学校の安定的運営などに重点を置きつつ、令和6年4月に市制施行70周年を迎えることから、各種記念事業などを実施するための予算編成を行いました。

一般会計、特別会計および企業会計をあわせた予算総額は299億3,239万9千円で、前年度当初予算額と比較すると1.3%、4億323万7千円の減、そのうち、一般会計は169億2,577万1千円で、前年度と比較すると2.7%、4億6,767万9千円の減となりました。

なお、一般会計予算の内容はホームページでもご覧いただけます。

☎財政課 ☎22-1332

令和6年度

予算

歳入

市税は、固定資産税が前年度比0.8%、1,584万3千円の増、都市計画税が1.0%、126万3千円の増となったものの、市民税が定額減税の影響により8.7%、1億2,974万2千円の減となり、全体では2.7%、1億884万6千円の減の39億2,439万円を見込んでいます。また、本市の大きな歳入である地方交付税は、地方財政計画や過去の交付実績などを踏まえ、前年度同額の42億5,000万円を見込んでいます。その他の歳入では、国庫支出金が3.2%、7,919万5千円の減となりました。これは、橋梁長寿命化対策事業や中河原白石沖線街路事業などが減額となったためです。一方で県支出金は、児童手当や国民健康保険、後期高齢者医療に関する負担金などの影響で、前年度比5.9%、5,258万7千円増の9億4,851万

歳出

7千円を見込んでいます。なお、財源不足に伴う主要3基金（財政調整基金、減債基金、都市整備基金）からの繰入れは、5,100万円減の20億8,000万円を見込んでいます。人件費は、白石市外二町組合解散に伴う退職手当組合負担金などの減少により、前年度比12.9%、4億3,904万4千円の減の29億5,759万7千円となりました。扶助費は、児童手当や私立保育園などに対する運営費の増加などで、2.8%、7,719万8千円増の27億9,852万8千円となりました。公債費は、元利償還金の増加で、2.5%、3,214万5千円増の13億400万1千円となりました。普通建設事業費は、スマートインターチェンジや道の駅整備事業などの増加で、2.7%、5,688万8千円増の22億268万8

市債

令和6年度末の市債残高は、歳入の市債が、橋梁長寿命化対策事業などの減少に伴い、前年度比28.3%、3億3,710万円減の8億5,280万円、歳出の公債費のうち元金償還金が3.0%、3,633万1千円増の12億5,913万5千円となるため、前年度末と比べ3.8%、4億633万5千円減の10億9,743万5千円（うち臨時財政対策債36億8,413万4千円）を見込んでいます。千円となりました。物件費は、橋梁点検等委託料やふるさと納税業務委託料などの減少により、7.6%、2億2,347万5千円減の27億516千円となりました。補助費等は、病院事業会計に対する負担金や補助金の減少により、4.3%、8,975万7千円減の20億1,922万1千円となりました。